

Z50JモンキーAB28・ミニモト製スーパーホワイトバルブ比較テスト

モンキー純正ヘッドライトバルブをミニモトオリジナルバルブに交換した場合の照度比較を、実際の画像を用いて比較しました。3つの画像を比較することで、それぞれの点灯イメージをご確認いただけます。

撮影カメラ
機種 キヤノン IXY800
ISO 80
モード 鮮やか



2009年式ホンダ純正
Z50J AB28型ヘッドライトバルブ
形式12V30/30W
コメント ハロゲンライト独特の黄色の光を放っています。

商品ID NO976

スーパーホワイト・PH7ヘッドライバルブ

バルブ形式12V30/30W

ミニモトオリジナル商品

参考交換作業時間 5分

コメント ホワイト系の光で、「鋭い」イメージ、スタイリッシュな印象を受けました。

注意 ライトレンズはホンダ製



ミニモト製



商品ID 1019

マルチリフレクターライトレンズ

バルブ形式12V30/30W

ミニモトオリジナル商品

参考交換作業時間 20分

コメント ホワイト系の光で、「鋭い」イメージ、マルチリフレクター採用で光を無駄なく、遠くまで伝えることが可能です。

注意 AB28では、ライト配線が特殊カプラーを採用。レンズマウントはボルトオンではあるが、配線とスピードメーターギヤが干渉するため、配線加工が必要。

参考： モンキー・ゴリラ/マルチリフレクターヘッドライト/NO1004
モンキー・ゴリラ/マルチリフレクターヘッドライト/NO1003

個人評価 ホンダ純正バルブの場合、昔ながらの黄色の光を発光。雨の日、曇りの日などは視界良好の予感です。弊社バルブを交換したところ、明らかにホワイト基調が強く、HID6000Kほどの印象を受けます。光が遠くまで届くような、広がりある光になったような感じがします。バルブは¥1,100(2009年3月時点)ですが、実走行に明らかに効果が得られる、納得できる商品です。バイクのイメージもより存在感がある高級的な光だと感じました。バルブのみであれば、即交換ができるのでオススメです。マルチリフレクターはAB27用であれば、無加工ですが、AB28の場合には配線加工が必要です。AB28になってからは、反射板の形状やライト配線の方法が変更になり、完成度を増した反面、配線加工が必要になってしまいました。